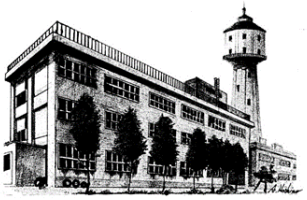
令和５年７月２０日発行

新潟県立長岡聾学校　学校だより

# はくちょう



〒940-0093　長岡市水道町 2-1-13　TEL　0258-32-1007

## 「人とのつながり、社会とのつながり」

教頭　三村　陽子

令和５年５月、新型コロナウイルス感染症の５類移行により行動制限が緩和されました。令和５年の１学期は、子供たちの安全・安心を第一にしながら、「新たな教育活動」に大きく舵をとる時期になりました。

５月２７日（土）に実施した運動会では、３年ぶりに来賓や卒業生、地域の方々から参観していただきました。子供たちが全力で競技に取り組んだり、大きな声で応援したりする姿を実際に見ていただくことができました。競技を終えた友達とハイタッチして、互いにねぎらうのも３年ぶりの姿でした。また、グラウンドのあちこちで、卒業生等が談笑している姿を見て聾学校を取り巻く人と人のつながりを実感しました。１０月２１日（土）に実施する文化祭も大勢の皆様からご来校いただき､子供たちの活躍する姿を見ていただきたいと考えております。

校外学習や現場実習、他校との交流活動は、回数を増やしたり、遠くに足を延ばしたりして充実した体験活動を行うことができました。今年度は縁あって外国の方との交流も実現しました。６月１５日（木）には、ウクライナから日本に避難しているろう者をお招きして、小学部高学年児童と中学部生徒を対象に出前授業を行いました。６月２６日（月）には、長岡市と姉妹都市のフォートワース市の中高校生が来校し、高等部産業技術科の生徒との交流会を実施しました。どちらも、世界とのつながりを感じる貴重な経験となりました。

一方で、コロナ禍で培ったリモート授業も継続しています。県外等遠く離れた学校とリモートでつなぎ意見を交換したり、学習の成果を発表したりしています。今後も、対面とリモートの良さを生かしつつ、子供たちがより多くの人とつながることができるよう、工夫を続けたいと思います。

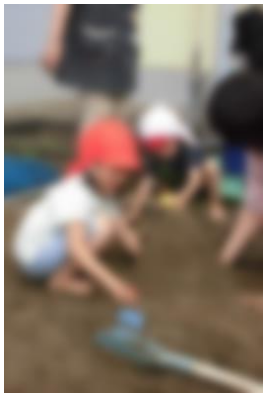
６月２０日（火）に実施した第１回学校評価委員会では、学校評価委員の皆様から授業を参観していただき、以下のような感想やご意見をいただきました。

・口元が見えるようになり、子供と教師の距離が縮まった感じがする
・子供たちが明るい表情でコミュニケーションをとっている
・地域との交流等、聾学校の取組を地域に発信してほしい
・地域の小中学校、高校に在籍する難聴児の支援等、聾学校のセンター的機能を発揮してほしい

今後も教育活動を通して、教師と子供が「つながり」、子供同士が「つながり」、社会や地域との「つながり」を育んでいこうと思います。また、長岡聾学校が地域とより「つながる」ことができるよう、情報発信をしていこうと思います。

# 【各学部の１学期の様子】

## 幼稚部



今年度の幼稚部は、４月に３名のかわいい３歳児が本校２名、高田分校に１名入学して総勢９名の幼児で元気いっぱい過ごしています。

始めは、お母さんと離れると涙を浮かべていた新入生も、４歳児、５歳児のお兄さんお姉さんと一緒に活動をしながら、励まされたり教えてもらったりすることで、楽しく活動に参加できるようになってきました。６月から始まった「なかよしタイム」では、「ころがしドッジボール」を楽しんでいます。縦割りのチームできいろぐみがチームのリーダーになって、みんなで話し合いをしたり、掛け声をかけたり、年下の友達に教えてあげたりと、子ども同士でかかわり合いながら遊ぶようになってきました。

また、６月に丘陵公園に行きました。学年ごとに季節の花や虫などに触れたり、お弁当やおやつを友達同士で見せ合ったりして１日親子で楽しみました。最後にはみんながふわふわドームに集まって笑顔いっぱい体を動かしました。

## 小学部

令和５年度の小学部は、本校と高田分教室を合わせて１８名です。

毎日元気に勉強したり、遊んだりしています。人数が少ない分、みんなとても仲良しです。いつも学年を超えて遊んでいます。

### 「運動会がんばりました！」

５月２７日は運動会でした。長岡聾学校の運動会は、幼稚部から高等部まで一緒です。小学部の児童も高等部のお兄さん、お姉さんに教わりながら難しいダンスを一生懸命おぼえました。 小学部種目の「綱引き合戦」は、陣地に引き込んだ縄の長さによって点数が違うため、チームごとに作戦を立ててがんばりました。

### 「交流活動がさかんです！」

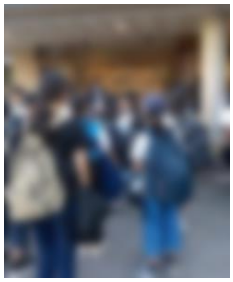
長岡聾学校では、児童の居住地にある小学校や中島小学校との交流を行っています。修学旅行やプール授業などは、中島小学校と一緒に行っています。また、学年ごとの交流も盛んで、お互いに行ったり来たりして交流を深めています。

地域の方々や保護者の皆様のご理解に感謝いたします。

全校ダンス、小学部も大活躍

縄の長さがいろいろな「綱引き合戦」

４年生の交流会



「修学旅行楽しかった！」と、６年生

## 中学部

令和5年度の中学部は、生徒13人でスタートです。今年度は、校外学習等で体験を通して学ぶ機会を昨年度よりも増やしていきます。

まずは、5月上旬に「新潟よつば学園との交流会」を行いました。直接交流は3年振りです。手話も分かる仲間たちなので、会話が弾みました。創立2年目の校舎を案内していただき、その広さと新しさ、そして、視覚障害のある生徒も通う校舎の工夫や初めて見る教具に、目を丸くしていました。

午後は新潟市内で、「親睦会」を行いました。万代シティから新潟駅まで、ミッションをクリアしながら縦割りチームで行動します。ミッションの答えが見つからなかったり、道に迷ったり、昼食の注文が店員さんに伝わらなかったりしましたが、どのチームも見事なチームワークで、時間内に笑顔でゴールすることができました。

6月下旬には、「東中学校との交流会」を行いました。交流活動（フリートーク）では、お互いに口をはっきり動かしたり、話す速さに気を付けたり、筆談をしたりと、相手に伝えたい気持ちがどのチームからも伝わりました。

一方、全体会では、「マスクあり、手話なし」で東中の生徒さんが話していたので、話を聞きとるのは難しい状況でした。このようなときは、どうすればよいか？ 次の校外学習である9月の職場見学・体験で生かしてほしいです。

## 高等部　産業技術科

今年度は、１年生２名、２年生２名、３年生４名の計８名が在籍しています。それぞれの生徒が、基本的な学力を身に付け、自己の適性にあった進路選択ができるよう、日々の授業やさまざまな活動に取り組んでいます。

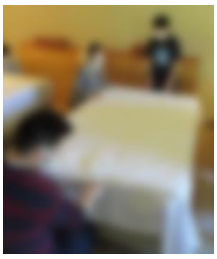
産業技術科では、主体的な社会参加を促すために、自立活動や総合学習で自己理解と自己表現、コミュニケーションに関わる活動を多く設定しています。「自分の気持ちや意見をどのように表現したら相手に伝わるのか」などを考えながら、他校との交流活動などに取り組んでいます。今年度は長岡市の姉妹都市であるフォートワース市の学生と交流する機会があり、言葉や文化の違いを超えてコミュニケーションを楽しむ姿が見られました。また、仲間同士で意見を出し合い、対話をとおして合意を形成していく活動も取り入れています。

将来の職業選択に向けては、職場見学や校内実習、現場実習をとおして、職業観や勤労観の育成、自己の適性や課題の把握を行っています。

## 高等部　普通科

今年度の普通科は、１年生４名が入学し、２年生３名、３年生４名の計１１名です。１年生も学校生活に慣れ、１１人が毎日の活動に意欲的に取り組んでいます。今回は２・３年生の修学旅行と１年生の校外学習について紹介します。

修学旅行は二泊三日の日程で、十日町・上越方面に行ってきました。絶景で有名な清津峡や、妙高サンシャインランド、上越のうみがたりを訪れ、観光を楽しみました。また宿泊したホテルベルナティオでは、職場体験活動として、ベッドメイキング講座とカクテル講座を受講しました。技術だけではなく、お客様をもてなす心構えについても教えていただき、貴重な学習の機会となりました。



１年生は進路学習の一環として、三条市内の福祉事業所を訪問し、説明を聞いたり、実際の作業を体験したりしました。事業所に併設されているカフェで卒業後の仕事をイメージしながら美味しいランチをいただきました。

## 寄宿舎

今年度の寄宿舎は、元気いっぱいの男子１０名、女子８名の計１８名が生活しています。冬期間には女子棟に２名が加わり２０名になります。

寄宿舎は、「ただいま」「おかえり」の挨拶から始まり、「いただきます」「おやすみ」「おはよう」「行ってきます」などの様々な元気な挨拶が飛び交い、小学３年生から高等部３年生までの子どもたちが、共に生活をしながら助け合い支え合い、まるで大家族のように毎日を過ごしています。

今年度から高等部普通科の生徒が１名入舎しました。子どもたち同士で、コミュニケーション方法を考え、手話を覚えたり、文字を書いたりするなどしてお互いが工夫しながら関わる姿が日々見られます。

４月当初は初めて泊まる子どもたちが多く、不安やホームシックで涙することもありましたが、友だちや先輩に励まされたり優しくしてもらったりしながら、徐々に寄宿舎の楽しさ知り、今では日々笑顔の絶えない寄宿舎になっています。

７月末にお楽しみ会を予定しており、舎生会のリーダーを中心に学部や学年に関係なく役割を考え、自分たちが楽しめるように準備や話し合いを重ねています。